

REVINA

*Vitalize Your Heart*

③ バイオナチュラルエマルジョン



# 有効成分=セラミドによる 微粒化エマルジョンシステム

REVINA  
Skin Care Products

微細な乳化粒子の中に有効成分を閉じ込めています。

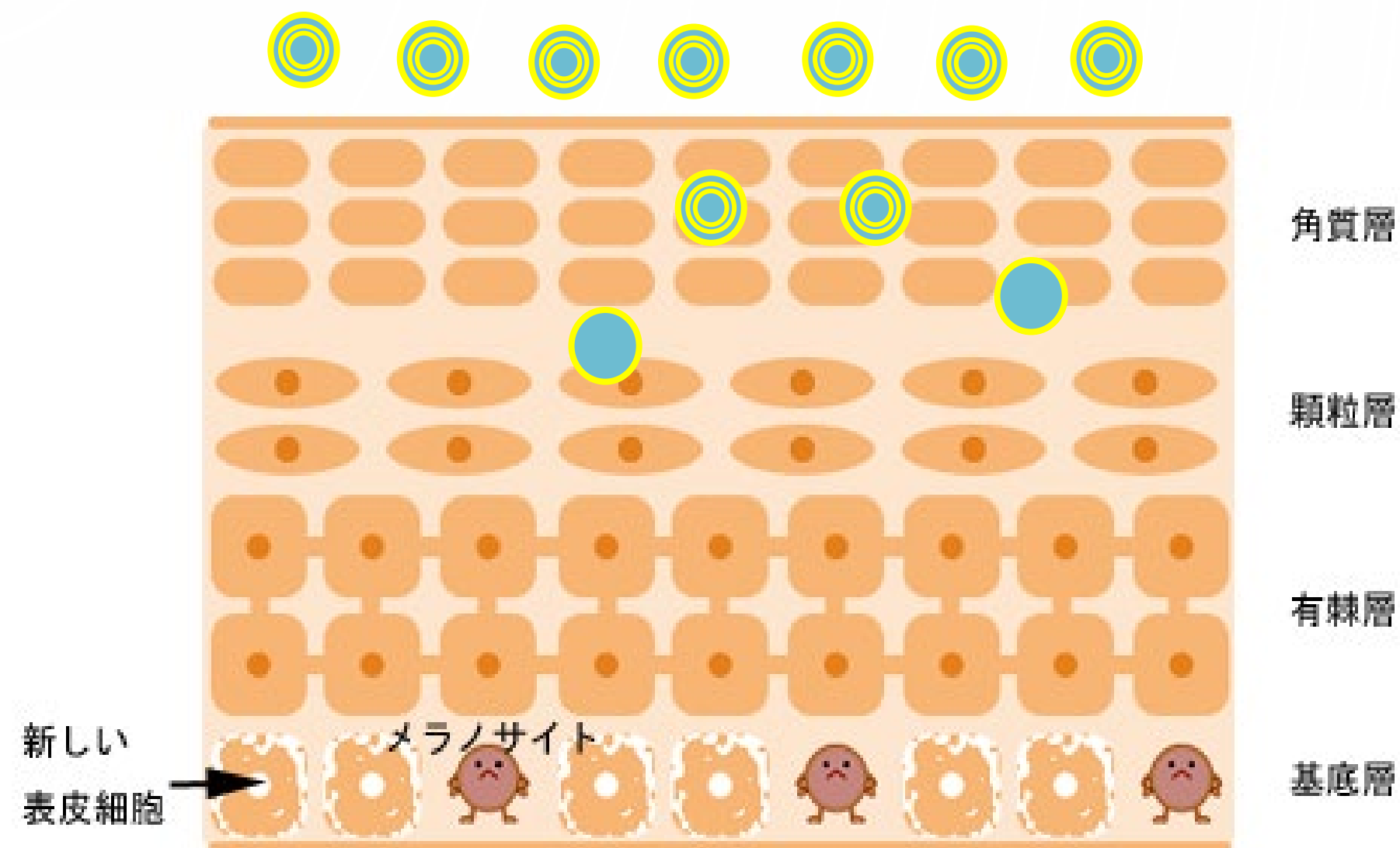
更に有効成分=セラミドで乳化しています!!  
微粒化することで感触と有効性と保湿性に拘った商品  
になっています。

通常は乳化=油と水を混ぜるのに界面活性剤を使用  
します。

この商品は・・・

セラミドでできているので親和性が高い

なんとセラミドで油と水を混ぜています。  
界面活性剤の機能として働いている成分が有効成分  
なのです。



イメージ図



# 匠のエマルジョン技術完成!!

## 匠のエマルジョン技術とは なんですか!?

独自の**ダブルエマルジョン**処方

それはクリームの中に、、、  
**二つの有効な粒子が  
存在しているんです。**

もちろん・・・

- 無香料
- 無着色
- 旧表示指定成分無添加
- 界面活性剤無添加
- ノンアルコール
- ノンパラベン
- 防腐剤無添加

7つの  
無添加

## バイオナチュラルエマルジョン

海水	オリーブ果実油
スクワラン	カニナバラ果実油
グリセリン	テトラヘキシルデカン酸アスコルビル
プロパンジオール	トコフェロール
トリエチルヘキサノイン	ニンジン根エキス
ペンチレングリコール	ダイズ油
ヘキサヒドロキシステアリン酸ジペン タエリスリチル	グルコシルルチン
ジグリセリン	アミノカプロン酸
PEG-20	グリチルリチン酸2K
バチルアルコール	ビスボロール
スフィンゴ糖脂質	カンゾウ根エキス
ヒドロキシステアリン酸コレステリル	アラントイン
オレンジラフィー油	アルギニン
バオバブ種子油	キサンタンガム
マカデミア種子油	ジメチコン
ホホバ種子油	カルボマー

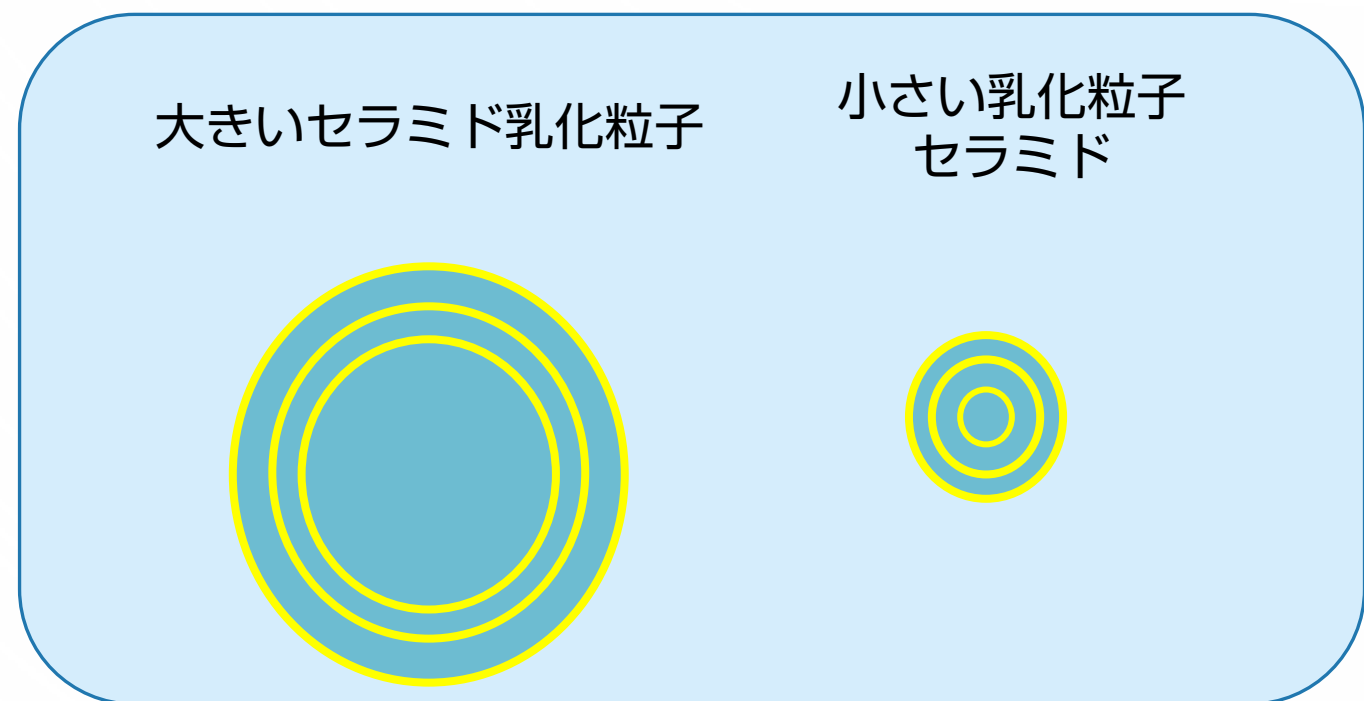


# ダブルエマルジョンとは

細かい乳化粒子だけではなく、  
クリームは皮脂膜の代わりに油分が欲しいので、  
乳化粒子を大きくしたのです。

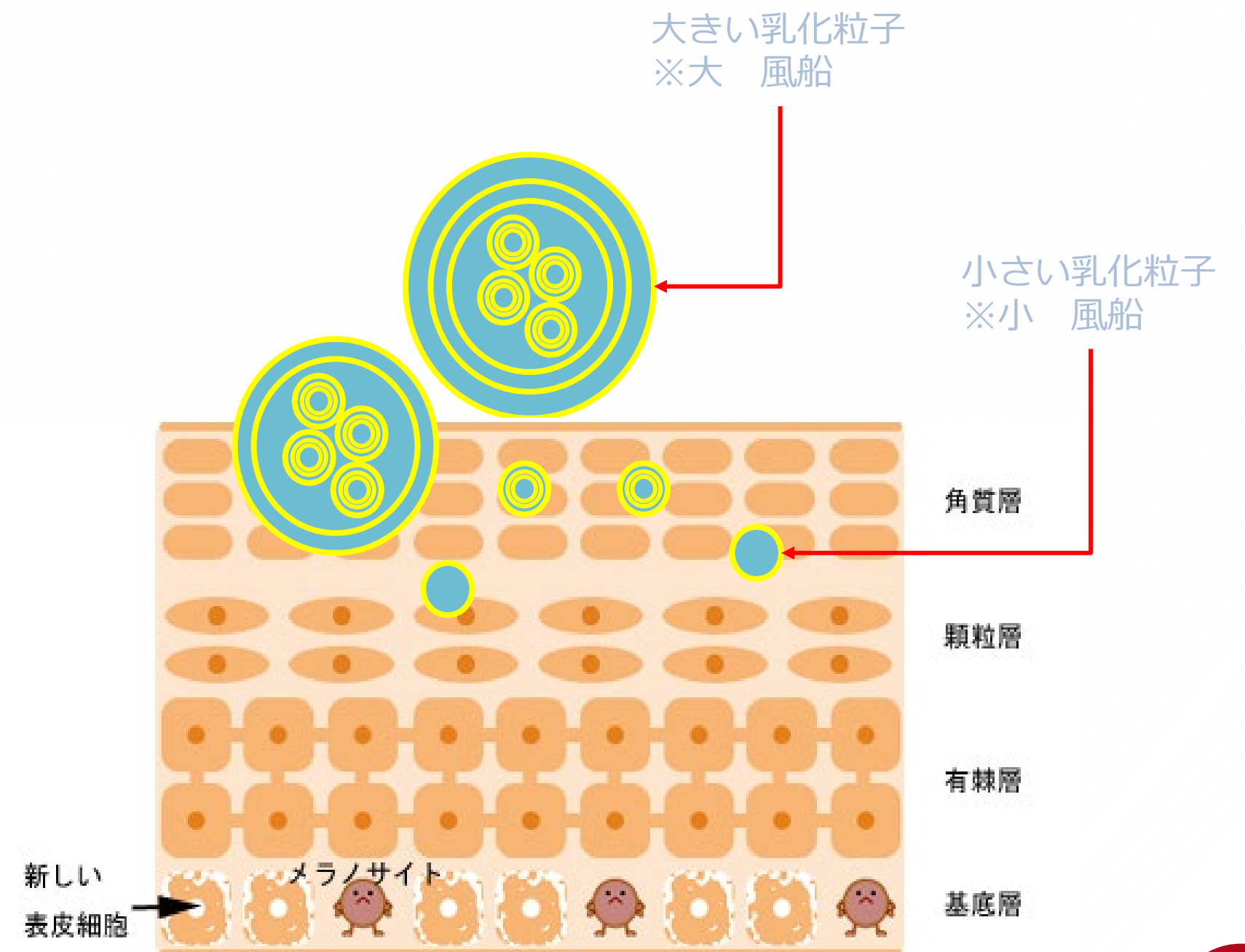
その中に**微細な乳化粒子**を閉じ込めています。

**細かい粒子**を閉じ込めることで  
**感触と有効性と保湿性に拘った商品になっています。**



## 【イメージ例】

大きい風船が割れて、中から数兆個の風船が  
無数に飛び出し、どんどん角質層に溶け込みます。



イメージ図



## 3つの強力バリア機能成分

### ◆ セレブロシド

角質の水分保持能力に優れ、高い保湿、保水効果があります。角質細胞の隙間を埋めて水分の蒸散を防ぐ細胞間脂質として働き、皮膚のバリア機能を改善し、外界の刺激から皮膚を保護します。

### ◆ ホホバ種子油

油ではなく実話ロウ類に分類され、美肌作りに欠かせない「ワックスエステル」という肌成分を豊富に含み、古くから薬用目的で使用されています。皮膚のバリア機能成分としてセラミドと同様に細胞間脂質に存在しています。

### ◆ オレンジラフィー油

天然のワックスエステルと呼ばれ、ホホバ種子油と同様の性質をもっていますがこちらは深海魚のオレンジラフィーから抽出されます。（※水深100M～1500Mに生息）  
オレンジラフィーはヒウチダイ科の魚類でこのワックスエステルがあるから光の届かない高圧環境下の深海でも生息できる性質をもっています。



ホホバオイル※2





## 6つの皮脂成分

### ◆スクワラン

もともと肌の中にあるうるおい物質。汗や水分と混じり合い、天然のクリームともいわれる皮脂膜となって乾燥や紫外線から肌を守っています。  
サトウキビから抽出した植物性スクワランです。

### ◆マカデミアナッツ油

オレイン酸とパルミトリン酸の不飽和脂肪酸比率が多い液状のオイルで、人の皮脂成分に近い組成です。パルミトリン酸を含肌老化防止があります。  
酸化安定性に優れている他、肌への馴染みがよく、柔軟効果も持続するので乾燥から肌を守ります。

### ◆オリーブ油

オレイン酸が豊富に含まれ、保湿力が高く、皮脂に近い性質で肌を乾燥から守る作用があります。  
不飽和度が小さく酸化しにくいのも特徴です。





## 6つの皮脂成分

### ◆ローズヒップ油

天然の美白成分「トランスレチノイン酸」を豊富に含んでいます。

レチノール=ビタミンAの成分になります。オレイン酸、リノール酸、リノレイン酸、が主な脂肪酸で、正常な皮膚の生理作用を維持する成分「プロストグランジンE1」を活性化させます。ビタミンCなども含んでおり、皮膚細胞の再生力を高め、傷跡の改善、シワやシミの改善などが期待できるアンチエイジングオイルです。

### ◆バオバブ種子油

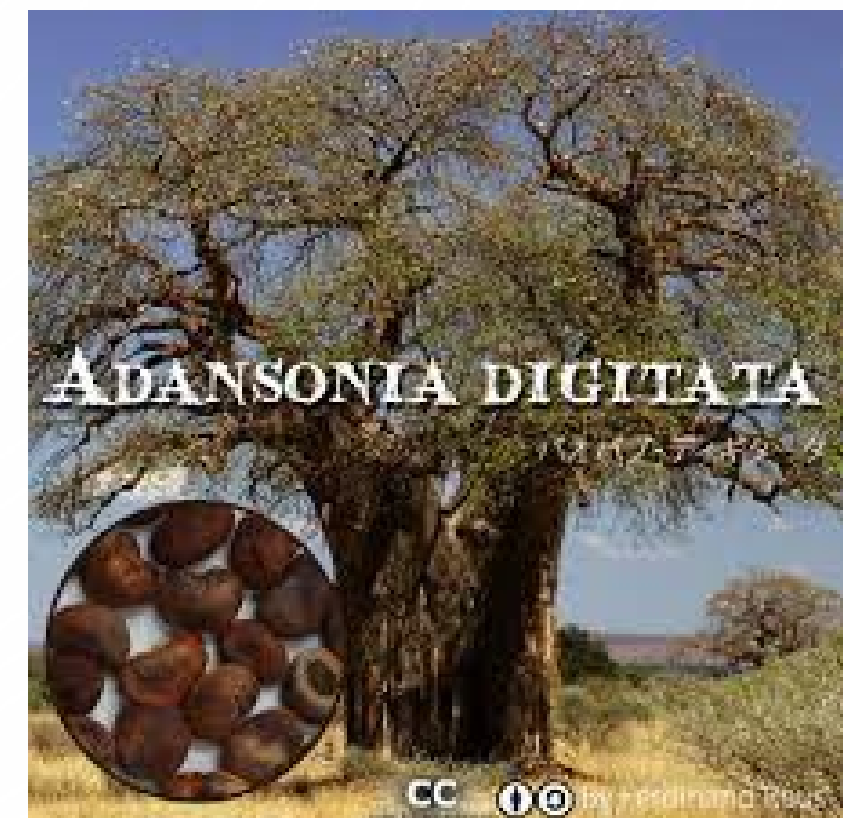
樹齢千年を超える樹木の実の種子から得られる奇跡のオイルと呼ばれる、植物オイルです。オレイン酸、パルチミン酸、リノール酸といわゆるオメガ3・6・9系の脂肪酸が含まれています。このバランスの良さが強力な保水力に繋がっているようです。ビタミン類はビタミンA、ビタミンD、ビタミンEも豊富に含まれています。

### ◆ダイズ油

オリーブ油と同じように使用されるようなオイルですが、オリーブ油とは違いリノール酸が多いので抗炎症や美白に有効性が高いとされています。



pixta.jp - 16929134



ADANSONIA DIGITATA

CC BY-ND 4.0



## 3つの強力抗炎症成分

### ◆ アラントイン

消炎作用・肌荒れ防止作用・細胞増殖作用、抗刺激作用があります。  
主に消炎効果が必要な敏感肌やオイリー肌がとくになりやすいニキビに効果的です。

### ◆ $\epsilon$ -アミノカプロン酸

炎症・アレルギー症状を改善し、皮膚刺激を抑制効果もあります。

### ◆ グリチルリチン酸2K

甘草のから抽出され、非常に優れた抗炎症、抗アレルギー、解毒作用を持ち、皮膚炎の治療に使われる医薬部外品にも使われる成分です。







## 6つのエイジングケア成分

### ◆テトラヘキシルデカン酸アスコルビル

油溶性のビタミンC誘導体です。

ビタミンCは水溶性で安定性が悪く、油溶性よりも吸収性が悪いです。油溶性になることで、吸収率が30倍以上となり、さらにその持続の時間も40時間以上になるとされています。

ニキビの改善、美白効果、さらにはコラーゲンの生成を助けてくれます。

### ◆トコフェロール

ビタミンEで脂溶性ビタミンの1種です。

抗酸化作用があり、肌の老化や肌荒れの原因となる活性酸素を除去し、お肌の老化を予防します。

### ◆ビサボロール

ブラジルのCANDEIAの木由来の天然成分で、お肌の漂白剤と言われるハイドロキノンの効果に匹敵しながらも、10倍以上の低刺激性を実現し、抗炎症効果も兼ね備えた美白成分。





## 6つのエイジングケア成分

### ◆カロットエキス

ニンジンの根からとることができるエキスです。

βカロチンを豊富に含まれています。

BカロチンはプロビタミンAとも呼ばれ皮膚上でビタミンAに変換されます。

(※クリームの黄色はカロチンの色です。)

### ◆グルコシルルチン

蕎麦などにも含まれる抗酸化成分です。

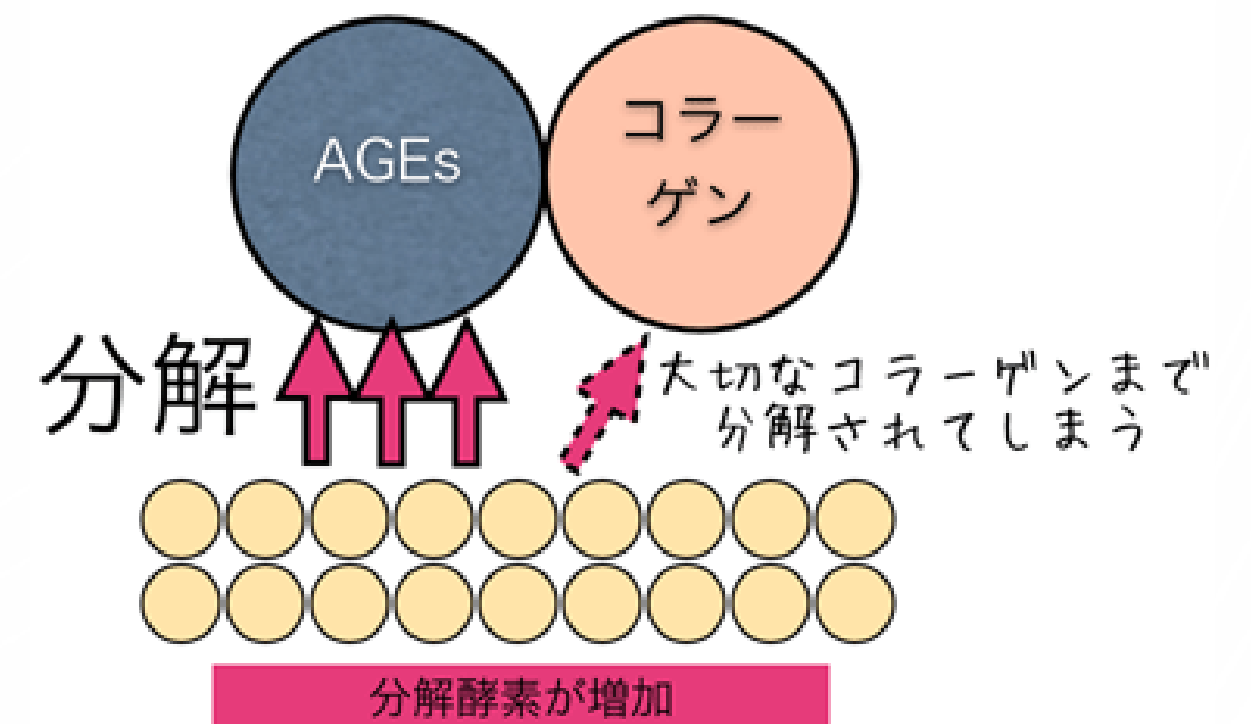
抗酸化作用が高いのが特徴でみかんの皮から抽出されています。

### ◆アルギニン 必須アミノ酸の1種です。

保湿作用により肌にうるおいとしっとり感を与え、肌荒れからお肌を守ることが期待できます。

成長ホルモンの分泌を促してコラーゲンの生成を促進し、張りのある美肌にすることが期待でき

ます。

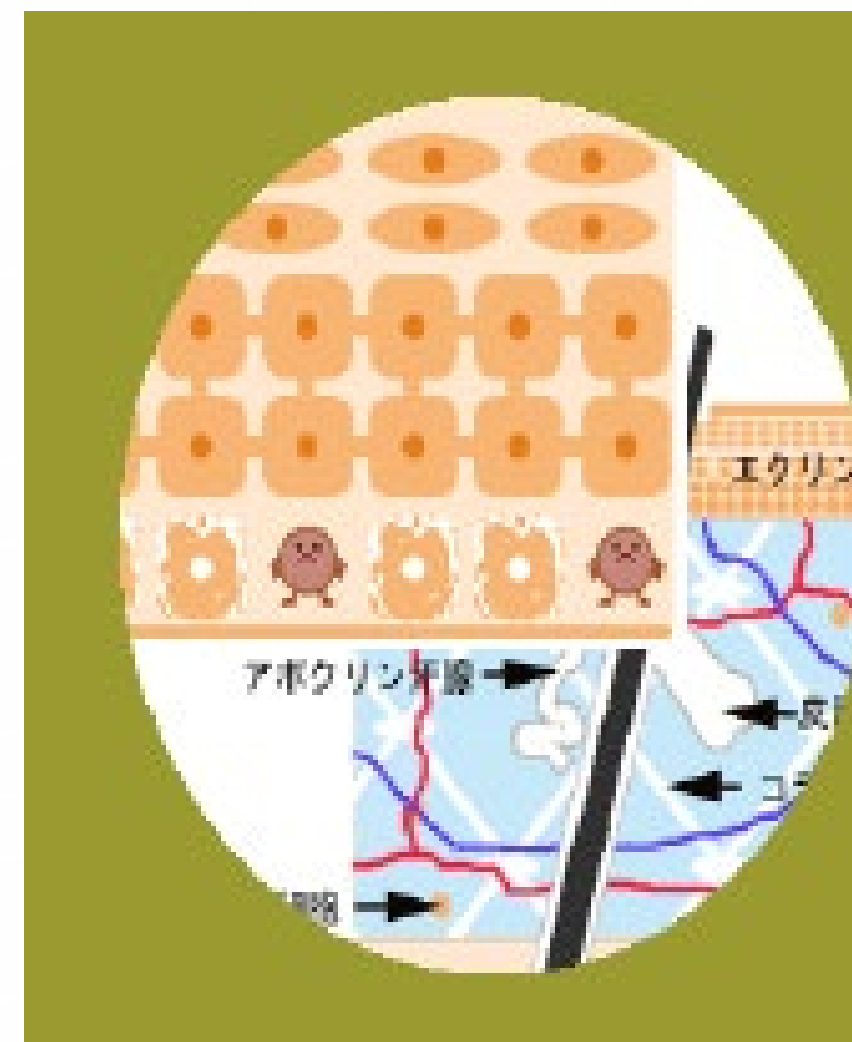




## セラミドで土台を作るスキンケアSTEP

※浸透圧の関係で皮膚の潤いが高まると浸透性が高まる。

- 1 **ブリリアントローション**を1～2プッシュ手に取り顔全体に細胞間脂質を補給します。
- 2 **バイオナチュラルエッセンス**をたっぷり手に取り角質層をさらに保湿します。
- 3 最後に**バイオナチュラルエマルジョン**でふたをしたら完成です。
- 4 **ブリリアントローション**を再度お使いいただくとう完璧です。



# 海洋深層水とミネラル



## 太平洋側と日本海側の深層水での違い

**?** 日本全国に、いわゆる海洋深層水がありますが、**能登町特有の他場所にはない特徴**は何ですか？



**A** 能登町特有というよりは、**太平洋側と日本海側の深層水での違い**があります。  
日本海側、水深300m以深の海洋深層水は日本海から外に出ることのない『**日本海固有水**』と呼ばれています。  
違いの特徴は太平洋側の水温が5℃前後、**日本海側は1℃～2℃の水温で年間を通して安定**しています。  
また、日本海側の深層水の方が**酸素と窒素の含有量が、非常に多い。** などの違いがあります。



# 能登産の海洋深層水とミネラル

REVINA  
Skin Care Products

## 特徴



雑誌等で**5つの特徴**が明記されていました。

以下の特徴についてそれぞれ何かバックデータの所有はありますか？

また開示して頂けませんか？



### 低温安定性

海洋深層水が存在する水深200m以深は、太陽の光が届かないため、水温は海面表層部分に比べかなり低く、通年にわたり安定している。

### 富栄養性

海洋深層水の存在する海域は太陽光が届かず、植物プランクトンが光合成できないため、植物の成長に欠かせない硝酸塩やリン酸塩などの無機栄養塩類が未使用のまま貯蔵されている。

### 清浄性

水深200mより深いところでは、大腸菌や一般の細菌による汚染がほとんどなく、また陸上や大気からの化学物質による汚染の可能性も少ない。

### ミネラル含有性


海水には、カルシウム・鉄・亜鉛・マグネシウムなど、生物が生きていくうえで必要な必須微量元素やミネラルがバランス良く含まれている。

### 熟成性

水圧20気圧以上の高圧下で海水が熟成される。化粧品に使うと肌の浸透が良い、食品に使うと味がまるやかになるといった点は、この熟成性に関係しているのではないかとされている。



## 肌への浸透性

 能登海洋深層水を配合した化粧水を使用した際、個人的に何か

**“浸透性が良い”**

ように感じました。

肌への浸透性という観点で、何か検証したデータなどお持ちではないでしょうか。



浸透性に関してのデータはこちらにはありません。よく深層水は気圧のかかった状態で熟成されている海水なので、浸透性が高いなどと言います。化粧水に使われた深層水が塩水か真水かでも違うかと思いますが、ただ、浸透性に対しては

### **脱塩水**

逆浸透膜というとても細かい膜を通過してきた水なので、**粒子が細かくなり浸透性が高くなる**

### **原水、濃縮水**

ミネラルバランスが妊婦の羊水などの**体液に近い**ので、**浸透性が高くなる**

などの理由が考えられます。



## 代謝とミネラルバランス

### 代謝

**ミネラルは酵素と結びつき代謝を助けています。**

ミネラルは体の中で作り出すことができなく食物から摂取するしかありません。ミネラルが不足すると欠乏症が起き様々な病気の原因となり得ます。

※代謝とは、食物の消化、吸収、老廃物の排泄、エネルギー生産などの体内におけるあらゆる化学反応のこと。体内には何千種類もの酵素がさまざまな代謝に関係しています。

このようにミネラルは相互間でバランスを取りながら酵素の補因子として身体のさまざまな代謝活動に関係しています。ヒアルロン酸、プラセンタなどの高分子は浸透しにくいのでだめですが、**ミネラルは元素であるので小さく肌に浸透しやすいため、取り入れられて、さまざまな効果を発揮**します。

### 拮抗作用

**ミネラルには拮抗作用があります。**  
(拮抗作用とは互いに負けずに張り合う作用。)

それぞれのミネラルは不足しても過剰になっても良くなく、そのバランスが大事であると解っています。

**ミネラルが力を発揮するとき、これらは単独で働いているわけではなく必ず他のビタミンやミネラルの協力を得て働いています。**

このように代謝という一連の皮膚の排出作用を通して**皮膚への状態とミネラルバランスは直接、関わっているのです。**





## ミネラルと肌

また、皮膚の表面である角質層には皮脂腺から分泌された脂分と汗によって**皮脂膜**が作られます。この皮脂膜は弱酸性に保たれていて、科学の力では作り出すことのできないものなので、とても大事な役目をしています。



この皮脂膜は弱酸性であり外からの細菌、カビ、アレルギーなどの有害物質を防いでいるからです。

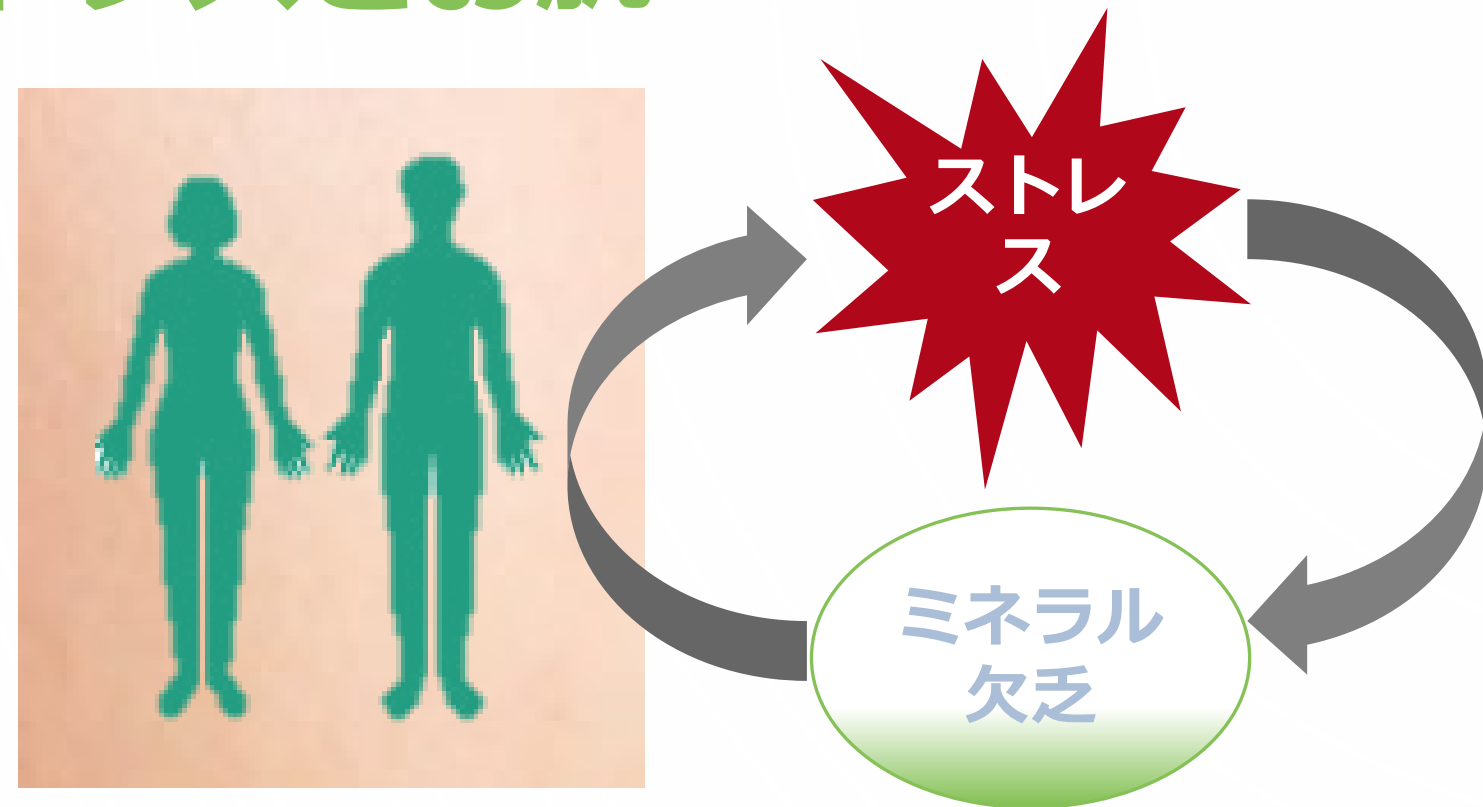
そして、しみ、ソバカスなどは活性酸素が原因で皮脂細胞が酸化してできるものなので**ミネラルの持つ酸化還元作用で白い肌を作ることができる**ようです。天然水にはミネラルが含まれていますが、ミネラルは肌にいい効果をすることが具体的に確かめられています。

また、肌は日常的に活性酸素やストレスにさらされています。





## ストレスとお肌

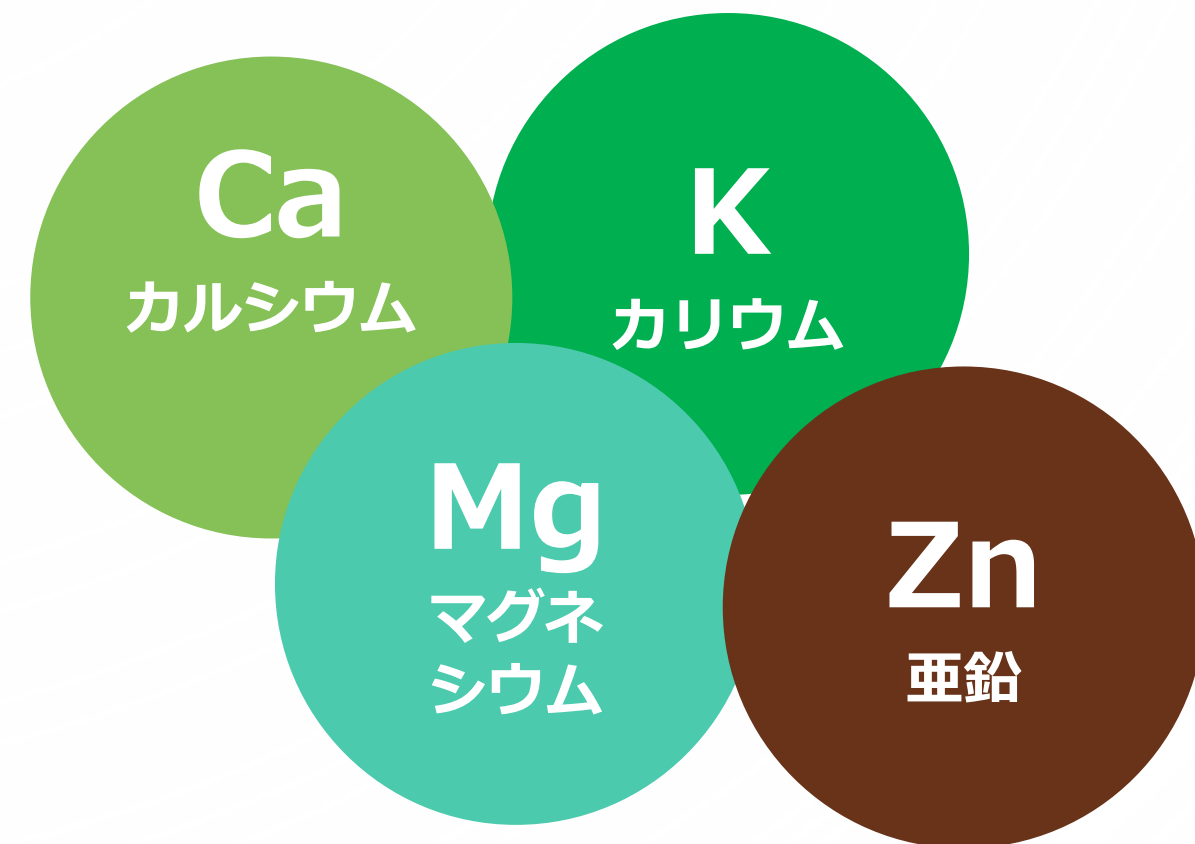


ストレスもお肌に良くないと言われてはいますが、人間にストレスが加わるとミネラル排出量が増加します。そしてストレスによるミネラル欠乏が、さらにストレスを生み出し、お肌に良くありません。

**ミネラルをバランスよく摂取することによりストレスに対抗**することができるようです。

それでは、**代表的なミネラル**についてミネラルの肌に関わる効果だけにしぼって具体的に見ていきたいと思います。

アレルギーや皮膚病にはカルシウム、マグネシウム、カリウム、亜鉛などが良いと言われカルシウム、マグネシウム、亜鉛はより皮膚病に良いミネラルとされています。



**ノバラ油** 【INCI: ROSA CANINA FRUIT OIL】



## ワイルドローズ（カニナバラ、バラ科）

### Wild Rose: (Rosa canina, Rosa spec.)



バラ科を「ワイルド（野生）」と呼ぶことは、その植物が人工交配されていないことを示します。ワイルドローズはバラ属に属し、高さ約3mの落葉性低木で、花は一重で花弁は5枚。芳香がわずかにあります。西アジアからヨーロッパに分布しており、ヨーロッパではもっとも普通にみられる野生バラで、園芸バラの作出にも大きな役割を果たしています。丈夫であることから台木にも利用されています。果実にはオレンジの20倍ものビタミンCのほか、ビタミンAも含まれ、ヨーロッパの一部では果実をシロップに利用したりもします。

世界には150種ほどのワイルドローズが、さまざまな色、香り、サイズで存在します。これらは庭のバラの母体となるものです。もっとも有名なワイルドローズはおそらくカニナバラRosa Canina（ドッグローズ）でしょう。このカニナバラから、おいしくてビタミンCをたくさん含むローズヒップ、そしてガリカバラが生まれました。ガリカバラは、タンニンを含み喉の炎症を癒すものとして、中世の修道院の庭で薬効植物として育てられていました。皇帝や王はいつもバラを好みます。バラ園の無い宮殿を見つけるのは困難でしょう。モハメド2世（15世紀の征服者）は、かの有名なハギアソフィアを掃除する時にローズウォーターを使わせたということです。アロマテラピーでも、ローズの香りは官能的なものとして考えられています。女王クレオパトラは、バラの花のカーペットで武将マーク・アントニーを誘惑したと言われています！

**ワイルドローズオイルは、細胞の再生を活性化させ、乾燥肌や敏感肌のお手入れに向いています。**